



## はじめに

札幌市の路面電車は、明治42年(1909年)の馬車鉄道から始まり、地下鉄の開業までは市内の基幹交通として、また、路線が縮小し、昭和49年(1974年)に現在と同じ路線延長8.5kmとなってからも、地域の重要な公共交通機関として利用されるとともに、沿線の街並みに溶け込み、まちのシンボルとして、親しまれる存在です。

札幌市では、この路面電車をまちづくりの中で積極的に活用していくという考えのもと、事業見直しなどの検討を重ね、平成22年(2010年)、路面電車の路線を延伸すべきであるとの考えを示した「札幌市路面電車活用方針」を策定しました。

その後、この方針に関する情報提供や市民議論を行い、いただいた幅広い市民の方々のご意見や要望を踏まえ、長年の懸案であり、また札幌市の「顔」である都心のまちづくりに路面電車を生かしていくその一歩となる路線の環状化(ループ化)に関する具体的な検討を行ってきたところです。

こうした中で、今般、ループ化や新型低床車両導入等の取組、また、併せて経営の健全化についての考え方を体系的に整理し、「札幌市路面電車活用計画」として取りまとめました。

ループ化により、路面電車の利便性を向上させるとともに、洗練されたデザインの新型低床車両を導入し、魅力と機能性を高め、多くの活動を支え促すことで活力を向上させ、札幌市に様々な価値を創造することを期待しています。

特に、新型低床車両については、札幌にふさわしいシャープでモダンなデザインが子どもたちに夢を与え、市民の皆様にも愛着を持っていただけるよう、まずは、観光客も含めた幅広い方々にその良さを実感していただきたいと思っています。

このように、札幌市では、これから路面電車を活用したまちづくりを本格化させていくところです。今後も、市民の皆様はじめ、企業、商店街等の方々のご理解とご協力を得ながら、暮らしやすく魅力と希望あふれる札幌のまちを創造してまいります。

平成24年(2012年)4月

札幌市長 **上田 文雄**

## 札幌市路面電車活用計画 目次

<b>1 路面電車活用計画策定の趣旨</b> .....	1
(1) 札幌市路面電車活用計画策定の目的	
(2) 路面電車の現状と検討経過	
<b>2 路面電車を活用して目指すまちの姿</b> .....	3
(1) 路面電車の特性・特長を生かしたまちづくりへの活用	
(2) 路面電車活用の3つの視点と重点取組	
<b>3 5つの重点取組の具体的内容</b> .....	7
(1) 路線のループ化	
(2) 新型低床車両の導入	
(3) 既設線の機能向上	
(4) トータルデザインの導入	
(5) 地域との連携	
<b>4 経営の健全化に向けて</b> .....	15
(1) 経営の効率化	
(2) 利用者負担のあり方	
(3) 新たな設備投資に対する費用負担	
<b>5 路面電車活用の今後の展開</b> .....	20